

話勢多

2022稻門祭訪問記

青木 代司
WASEDA

2022年10月23日、絶好のお天気に恵まれたこの日、3年ぶりに対面式の形式で稻門祭が開催されました。静岡県出身の学生諸氏を支援するため多くの交友の皆様にご参加いただきました。



私も高校時代の恩師の「子息」と会うことができ、感慨ひとしおでした。ぜひ来年も盛大に行われ、参加できることを願っております。

【青木 設計工房代表・79理】

私も高校時代の恩師の「子息」と会うことができ、感慨ひとしおでした。ぜひ来年も盛大に行われ、参加できることを願っております。



私も高校時代の恩師の「子息」と会うことができ、感慨ひとしおでした。ぜひ来年も盛大に行われ、参加できることを願っております。

【早大時代と現在の自分】

十屋 研一

昭和五十三年四月入学。
同期にオーブンしたサンシャイン

三島稻門会エリヤに暮らすようになります。もう二十年以上経ちました。私は愛知県の出身で、大学進学で上京、その後東京で就職。その愛知県よりも東京よりも長い年月を過ごしています。なぜこちらへ?まあ結婚したからな

のですが、就職先で落ちこぼれ、キヤ

リアアップのためにリセツしなきや、

となぜか大学院に進学(早稲田じゃな

いです、すみません)。そこで会った同

級生と結婚してしまい、キヤリアップ

も何も、免許取得後10年以上経つ

の運転練習から始まる、まさに人生リ

セットです。この辺りは富士山が日常

生活の中に、しかも大きくなっているので、

東京などから訪ねてきた人たちがみんな

な「ステキな景色!」と喜んでくれま

した。が、民家の間に突然現れる巨大

前置きが長くなりましたが、私のささ

合で、そういうことが増え、仕方ないと自

分を納得させつつも、何かの折に校歌

長くこちらにいるのに、三島稻門会の

行事には一度も参加したことがありま

せん。自分の都合だけでなく家族の都

合で、そういうことが増え、仕方ないと自

分を納得させつつも、何かの折に校歌

長くこちらにいるのに、三島稻門会の